

令和 6 年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況」 の点検及び評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第 2 6 条の規定に基づき議会に提出

飯 豊 町 教 育 委 員 会

目 次

第 1 部 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第 2 部 教育委員会の事務の点検・評価・・・・・・・・・・・・・・ 5

1 教 育 委 員 会 の 活 動 状 況

第1部 飯豊町教育委員会の活動状況

1 教育委員会の開催

- (1) 飯豊町教育委員会会議規則（昭和44年7月17日教委規則第2号）により、教育長が必要と認めた場合において開催することとしている。
 - (2) 教育委員会会議については、原則公開としているが、令和6年度において傍聴者はなかった。
 - (3) 教育委員会会議の開催予定及び会議の概要について、町ホームページでの周知・公開を今後検討する。
- なお、令和6年度の開催状況は以下のとおりである。

令和6年第4回教育委員会（R6.5.29）

議事

- (1) 飯豊町幼保連携型認定こども園評議員設置要綱の設定について
- (2) 飯豊町子ども読書活動推進協議会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について
- (3) 飯豊町立学校運営協議会委員の任命について
- (4) 飯豊町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
- (5) 飯豊町教育支援委員の委嘱について
- (6) 飯豊町学校給食共同調理場運営委員の委嘱について
- (7) 飯豊町社会教育委員の任命について
- (8) 飯豊町公民館運営審議会委員の委嘱について
- (9) 飯豊町公民館分館長の委嘱について
- (10) 飯豊町子ども読書活動推進協議会委員の委嘱について
- (11) 令和6年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

令和6年第5回教育委員会（R6.7.12）

議事

- (1) 飯豊町公民館運営審議会委員の委嘱について
- (2) 飯豊町公民館分館長の委嘱について
- (3) 飯豊町立いいでの森学園校章デザインの最優秀賞の選定について
- (4) 飯豊町立いいでの森学園開校に係る計画の推進について

令和6年第6回教育委員会（R6.8.7）

議事

- (1) 飯豊町公民館運営審議会委員の委嘱について
- (2) 令和7年度使用小学校用教科用図書及び中学校用教科用図書の採択について
- (3) 令和5年度「教育に関する事務の管理及び執行状況」の点検及び評価報告書について

令和6年第7回教育委員会（R6.10.11）

教育長職務代理者の指名及び議席の指定等を行い、議事なし

令和6年第8回教育委員会（R6.12.17）

議事

- (1) 義務教育学校開校までの極小規模学校・複式学級解消の対応策について

令和 7 年第 1 回教育委員会 (R7. 2. 19)

議事

- (1) 飯豊町地区まちづくりセンターの設置及び管理運営に関する条例の設定について
- (2) 飯豊町地区まちづくりセンターの設置及び管理運営に関する条例の設定に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について
- (3) 飯豊町地区まちづくりセンターの設置及び管理運営に関する条例の設定に伴う関係規則の整備に関する規則の制定について
- (4) 飯豊町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- (5) 飯豊町立小学校、中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について
- (6) 令和 7 年度飯豊町学校教育指針について
- (7) 令和 7 年度飯豊町社会教育指針について

令和 7 年第 2 回教育委員会 (R7. 3. 7)

議事

- (1) 令和 7 年度教職員人事異動の内申について

令和 7 年第 3 回教育委員会 (R7. 3. 21)

議事

- (1) 飯豊町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
- (2) 令和 7 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

- (3) 飯豊町立学校歯科医の委嘱について

- (4) 令和 7 年度飯豊町職員人事異動の内申について

2 教育委員会協議会の開催

当面する検討課題等について意見交換を行った。

令和 6 年第 1 回教育委員会協議会 (R 6. 5. 2)

- (1) 義務教育学校開校準備委員会について
- (2) 義務教育学校視察臨時校長会報告について

3 教育懇談会、研修会への参加等

教育懇談会に参加したほか、西置賜地区や県の関係機関が開催する研修会に参加し、教育における諸課題について研修した。

[教育懇談会]

- (1) 令和 6 年度飯豊町教育懇談会 (R 6. 11. 29)

[教育委員研修]

- (1) 東北六県市町村教育委員会連合会

教育委員・教育長研修会

講演：「宇宙を身近に ー有人宇宙開発とこれからの宇宙
探査ー」

講師：鶴岡スペースステーション 代表 佐藤 涼子 氏

行政説明：演題「優れた教師人材の確保に向けた取組に
ついて」

講師 文部科学省教育人材政策課

課長補佐 重親龍志 氏

(2) 西置賜地区教育委員会協議会研修会

講演：「第7次山形県教育振興計画」について

講師：置賜教育事務所長 目黒 孝博 氏

(3) 西置賜地区教育委員会協議会研修会

講演：「子供・家庭・地域の心を育てる食育・食農について」

講師：農林水産省大臣官房審議官 勝野 美江 氏

[学校等訪問]

各幼児施設及び小中学校、調理場訪問（R6.10.22、10.30）

2 教育委員会の事務の点検・評価

（重点項目）学校教育の充実

◇目標 「SDGs 未来都市」に選定された飯豊町として、地球環境の危機的状況を理解し、対処するための知識を育みつつ、グローバル化が進む社会に適応できるよう、知・徳・体のバランスのとれた、新しい時代に活躍できる子どもの育成を目指します。地域とのつながりを大事に、連綿とつないできた文化や先人の思いを自分事として学び、社会の中で主体的に生きることができる子どもを育てます。

特別な教育的支援を必要とする子どもたちへの対応や、家庭環境、経済的状況等による教育格差解消に向け、関係機関と連携して取り組んでいきます。少子化が進行する中、子どもたちにより良い教育環境を確保するため、町内幼児施設と小学校の再編を進めていきます。

〈達成状況〉事業 13 項目のうち、達成（◎）：12 概ね達成（○）：0 未達成（×）：1 評価不能※（－）：0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
1. SDGs 教育の推進 ◇学力向上推進プランや町営学習教室「いいで希望塾」の実施	(1) 学力向上推進プランに基づき、SDGs の精神を活かした教育を実践	<u>× 未達成</u> 令和 6 年度の標準学力調査において、本町の小学校の教科総合偏差値平均の目標値は 53 点、中学校は全国比 106 に対し、小中学校ともに達成できなかった。	標準学力調査教科 【目標】 小学校総合偏差値平均点 53 点 中学校全国比 106 【実績】 小学校：50.1 点 中学校：92	◇町内児童生徒の学力と学習状況について評価・分析を行い、「強み・課題・対応策」を学校と確認して共有する。その上で授業改善の取り組みと家庭学習の習慣化について、学校と一緒に考え、実践を促して行く。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
◇学校教育指導専門員の配置（教職員への授業指導）	(2) 学習習慣の定着と学力の向上を目指し、中学生を対象とした町営学習教室「いいで希望塾」を継続して開講	<u>◎達成</u> 令和6年度は、年間20回の開催を達成することができた。	「いいで希望塾」年間開催回数 【目標値】20回 【実績】 3年生：20回 1・2年生：20回 参加生徒数：41名	◇中学生には、学習意欲の向上と学習習慣の定着を図るため、いいで希望塾の参加を促していく。そのために令和7年度においても引き続き実施し、各学年20回の開催を予定する。
	(3) 学校教育指導専門員の配置（教職員への授業指導）	<u>◎達成</u> 学校教育指導専門員による小中学校の授業参観を186回実施し、指導方法に関する評価や改善の提案を教員へ行った。さらに教員を対象とした授業参観（146回）、示範授業（1回）、面接指導（27回）、「授業づくり資料」の発行（19回）等を実施した。学校教育指導専門員のきめ細かい指導と取り組みにより教員の指導力	学校教育指導専門員配置人数 【目標】1名 【実績】1名	◇引き続き学校教育指導専門員を配置し、小中学校の教員のスキルアップの支援を行っていく。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
◇スクールカウンセラーによる臨床心理指導、定期相談や早期支援連携事業の実施	(4) スクールカウンセラーによる臨床心理指導、定期相談や早期支援連携事業の実施 (5) いじめの早期発見及び対応に努めるとともに、「飯豊町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止に向けて、学校における取組状況の点検や教員研修の充実を啓発し、指導主事やスクールカウンセラーによる個別の相談活動や指導・助言を行う。	向上や学校経営の改善向上を図ることができた。 ◎達成 スクールカウンセラーを配置し、問題を抱える児童生徒の自立支援や相談活動、問題行動の未然防止のため自立支援員や学校支援員を各校に配置するとともに、教育相談体制の充実を図ってきた。 ◎達成 ・小学校は、1学期に75件、2学期に47件、3学期に6件のいじめ問題が報告された。すぐに学校いじめ防止方針に基づいて対応し、令和6年度中に認知した案件はすべて解消している。 ・中学校は、1学期に23件、2学期に13件、3学	◇スクールカウンセラー配置人数 【目標】1名 【実績】1名 ◇いじめの報告数に対する対応 【目標】未解消数0件 【実績】いじめの報告数小学校128件うち未解消数0件中学校39件うち未解消数0件 ◇「Q-Uテスト」全	◇引き続き学スクールカウンセラー、自立支援員、学校支援員を配置し教育相談体制の充実を図る。 ◇いじめ問題に対する取組を学校と教育委員会が一丸となって進め、児童生徒や家庭との信頼関係を築きながら、問題を抱える児童生徒一人一人に応じた指導・支援を積極的に進めるとともに、関係機関が連

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	また、「Q-Uテスト」を全校で実施するとともに、スクールカウンセラーによる心理相談を実施 (6) 学校に対し体罰を把握した場合には直ちに報告するよう求め、体罰の実態把握に努める	期に3件のいじめ問題が報告された。すぐに学校いじめ防止方針に基づいて対応し、令和6年度中に認知した案件はすべて解消している。 <u>◎達成</u> ・学校における体罰件数は0件であった。	校実施 【目標】 年1回以上の実施 【実績】 実施件数1回 ◇体罰の報告件数 【目標】0件 【実績】0件 【目標】教育委員会独自の教育プログラムの実施。	携し、今後もいじめ問題の発生を未然に防ぐ取組を恒常的に実施する。また相談窓口を継続して設置し、その周知を図る。 ◇教育現場において、教員や部活動の指導者等が体罰に関する正しい認識を持ち、児童生徒理解と適切な信頼関係に基づく指導が行われるよう学校支援を強化し、継続して体罰の発生防止に努める。 ◇子どもたちの学習意欲を向上させるような取り組みを継続する。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
2. ふるさとを愛する心を育む教育の展開 ◇「いいでの子、大したもんだプロジェクト」の教育プログラム開発	(7) 小中学生を対象に町内を受験会場に数学・算数検定及び漢字検定を実施 (8) 中学生を対象に英語・数学・漢字検定で3級以上を受験する場合、検定料を一律1,000円補助する。 (9) 「算数・数学難問クイズ」を毎月、各小中学校に設置 (10) 身近な地域教材や伝承文化、地域事業内容を総	<u>◎達成</u> ・延べ49名の児童・生徒が受験。合格者数は44名であった。 <u>◎達成</u> ・中学生延べ19名が、補助金の交付を受けて、検定3級以上を受験した。 英語検定 13名 漢字検定 4名 数学検定 2名 <u>◎達成</u> ・小学生延べ180名、中学生延べ9名が「算数・数学難問クイズ」にチャレンジした。 <u>◎達成</u> 学校の活動を中心として、	【実績】 ・数学、算数検定及び漢字検定の町内での開催 ・数学・算数検定 1回目受験 13名 2回目受験 15名 ・漢字検定 受験者 21名 ・「算数・数学難問クイズ」の実施。子どもたちの学習意欲の向上に寄与した。	◇中学生を対象に英語・数学・漢字検定の受験料に対し補助制度を実施する。 ◇引き続き、確かな学力を育むために一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図る。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	合的な学習の時間のプログラムに取り入れ、自然環境を活用した体験教室や地域を知るための郷土教育を推進する。 (11)一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図りながら確かな学力を育み、子どもの豊かな創造力と個性を伸ばす教育を進めてきた。	社会科町めぐり探検や職場体験学習、学校田（林）活用、ボランティア活動など、総合的な学習の時間に多彩なプログラムが実施されており、地域の有識者を招いての郷土学習を行うなど地域に誇りと愛着を持つ学習が重視されている。 <u>◎達成</u> 子どもの興味・関心を高め、豊かな心で未来を生き抜く力を身につけさせるための学校生活支援や、子ども主体の学校行事の支援を行ってきた。各校とも、学習発表や学校行事、ボランティア活動、児童生徒会活動等の場面を通して、自分の思いや考えを伝え合い、共に高め合う取り組みが継続的になされている。		

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
3. 教育環境の充実 ◇外国語指導助手の配置とICTコーディネーターの配置（外国語教育の強化、プログラミング教育） ◇学校の在り方（再編）についての検討	(12)小中学校及び幼児教育施設において、学習指導要領に基づく学習指導や異文化理解等が深められるよう、外国語指導助手を継続して2名配置。また、学校でのICT学習を推進するためICTコーディネーターを配置 (13)義務教育学校を令和8年4月から施設分離型での義務教育学校開校を計画していたが、教職員配置の課題があり、施設一	<u>◎達成</u> ・国際化社会に対応した教育施策の一環として、外国人の外国語指導助手を配置し、外国語によるコミュニケーション能力の向上や国際感覚の養成する授業を実施した。 ・GIGA スクールのタブレット端末を活用し、プログラミングの授業を実施した。 ・ICT支援員を配置し、ICT学習の充実を図った。 <u>◎達成</u> ・令和7年3月の町議会で「飯豊町立学校設置条例の一部改正」が審議され、令和8年4月から第二	【目標】外国語指導助手及びICTコーディネーターの配置 【実績】 ◇外国語指導助手2名を配置 ○英語・ICTコーディネーター1名を配置。 【目標】 義務教育学校開校までの緊急的・段階的対応としての小学校統合につい	◇引き続き外国語指導助手の配置及びICTコーディネーターを継続する。 ◇さらにICT教育の充実を図るため引き続きICT支援員を配置する。 ◇ICT機器の計画的な更新を行うとともに、更なるICT環境の充実を図り、情報化社会に対応できる子どもを育てる。 ◇開校準備委員会で策定した計画に基づき、準備を着実に進める。 ◇保護者・住民へ経過

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	体型での開校に計画を変更した。そのためには必要となる校舎改修・増築の財源と工期の確保が必要となり、開校時期を延期することになった。本町にとって極小規模学校と複式学級の仮称は喫緊の課題であることから第二小・手ノ子小・添川小の三校を義務教育学校開校までの間の緊急的・段階的対応策として統合を進める。	小・手ノ子小・添川小の三校統合と義務教育学校「いいでの森学園」の開校時期を規則に委ねるとすることが可決、承認された。	て保護者をはじめとする町民の意見をしっかりと聴いて丁寧に計画を進めること。 【実績】 意見交換会 11月4回 1月～2月7回開催 パブリックコメントの実施 【目標】 各小学校校区単位で2回以上開催する。 【実績】 ・各校区で2回以上実施 ・参加者延べ85人	を丁寧に報告する。 ◇保護者・住民の意見や質問を聴く手段を設け、丁寧に回答する。

(重点項目) 子育て環境の整備

◇目標 「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、次世代を担う子どもたちを安心して育てられる環境づくりを総合的に進め、子どもが健やかに成長できるまちづくりを目指します。

〈達成状況〉事業9項目のうち、達成(◎):9 概ね達成(○):0 未達成(×):0 評価不能※(ー):0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
1. 子育て支援サービスなどの充実	(1)産休明け保育の実施	◎達成 出産後も仕事を続けたいという女性のために、特にニーズの高い産休明け保育(生後3ヶ月～6ヶ月)を実施した。	幼児施設待機児童数 【R6目標】 0人 【R6実績】 0人	◇子育て相談窓口の機能強化、多様な保育ニーズへの対応、乳幼児保育の充実、子ども家庭センターと定期的な情報共有などを行い、児童虐待等の未然防止や迅速対応への体制を整備し、総合的な子育て支援体制の充実に努めていく。
	(2)延長保育の実施	◎達成 全幼児施設において午前7時30分から午後6時45分までの早朝・延長保育を実施した。	延長保育実施施設数 【R6目標】3施設 【R6実績】3施設	◇幼児教育と家庭教育の連携強化を図り、安定した親子関係の構築に努めていく。
	(3)一時保育の実施	◎達成 NPO法人「ほっと」との協働の取り組みによる委託事業として実施した。	一時保育の実施 【R6目標】1施設 【R6実績】1施設	◇R6年度より健康福祉課所管となったが、将来の保育需要

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
2. 地域資源を活用した子育て環境づくり	(4)放課後児童クラブの実施	<u>◎達成</u> すべての小学校区の児童を対象とし、町内2箇所の放課後児童クラブを設置し、保護者の意向調査等から小学6年生までを対象とし実施した。	学童クラブ待機児童数 【R6目標】 0人 【R6実績】 0人	の動向や出生数の推移等を見定めながら、就学前児童にとって望ましい幼児教育環境を構築するため、連携していく。 ◇1～2学年を中心に利用のニーズが高いため、支援員の確保を図るとともに、放課後の子どもの居場所の設置について検討を進める。
	(1)幼小中の連携	<u>◎達成</u> 「めざみっ子カリキュラム」に沿い、小学校と幼児施設との交流・連携・情報交換を図った。	各園の園児と各学校の児童による交流の機会の確保	各園の園児と各学校の児童による交流を継続する。
	(2)食育の推進	<u>◎達成</u> 幼児施設での野菜栽培体験とおやつへの利用、果樹生産者との交流、栄養士との連携による園児・保護者への「食育」の啓発を行った。 祖父母参観の実施、食改グ	食育活動・交流活動実施施設 【R6目標】3園 【R6実績】3園	◇幼小の連携から、幼少中一貫教育へ向けて、グランドデザインやスタートプログラムの意義を十分に理解し、連携と情報交換、交流が

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
3. 子育て家庭の負担軽減	(1) 保育施設等の利用者負担の軽減	ループ、高齢者団体、地域住民との交流を行った。また、郷土愛を醸成するため、地域の食材を活用した手作りおやつを提供した。 ◎達成 保育料の軽減 ◇令和元年10月より幼児教育・保育の無償化により、3歳～5歳及び3歳未満児の住民税非課税世帯の保育料が無償となった。 3歳未満児に関しては、令和4年4月より保育料について市町村所得層3階層・4階層に該当する世帯は無償化としている。 入園児が、同一世帯の18歳までの子から数えて第3子以降の場合、保育料を無償化、園への複数人の同時入所の場合、2人目の軽減額を拡充し、1/3の額としている。	町独自保育料負担軽減の実施（第3子以降の無償化、複数人の同時入所の場合、2人目の軽減を行っている）	図られるように創意工夫し一層進めていく。 ◇引き続き、子どもたちが農村の豊かさを実感できるような食育の推進に取り組む、ふるさとに対する愛情を醸成していく。 ◇3歳未満児に関しては、引き続き保育料等の軽減策を継続していく。また、第3子以降の3歳～5歳児の子どもの給食費と延長保育・預かり保育のおやつ代の無償化を継続していく。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	(2) 自園給食以外への給食提供を実施	<u>◎達成</u> わくわくこども園幼児部に、学校給食共同調理場からのおかず給食の配食を実施し、子どもの成長過程にあった給食提供に取り組んでいる。	自園給食施設以外への給食提供 【R6 目標】 1 園 【R6 実施】 1 園	◇今後も調理場の給食の配食を実施するとともに、自園給食にあっても調理場の献立を基に栄養バランスのとれた給食の提供を行っていく。
	(3) 児童施設の園児送迎バスの運行	<u>◎達成</u> 園児の送迎バスとして、スクールバスやワゴン車（わくわくカー）を活用し運行するとともに、保護者会の事務負担を軽減し、保護者負担の平準化を図るため、町にて添乗員を手配し送迎バスの運行を行った。 また園児・児童を送迎する車両に置き去り防止装置を設置し、安全対策の向上に努めた。	児童施設の園児送迎バスの運行 【R6 目標】 2 園 【R6 実施】 2 園	◇今後も町主体によるバス運行を継続し、保護者の利便性の向上に努める。

(重点項目) 生涯学習活動の推進

◇目標 心豊かで品位のある人間性、創造力に富むたくましい人間、ふるさとの良さを知り飯豊町で生きる誇りを持てる「いい人」を育てるため、学習機会の充実や学習情報の提供を推進し、多様な生涯学習の展開をはかります。

〈達成状況〉事業9項目のうち、達成(◎):6 概ね達成(○):3 未達成(×):0 評価不能※(ー):0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
1. 生涯学習推進体制の整備充実	(1) 生涯学習推進体制の充実	<u>◎達成</u> 各地区公民館と連携し、地域を学び、地域の資源や特色を生かした創意工夫の生涯学習活動と地域文化の伝承に取り組んだ。	各地区公民館との打合せ回数 【目標】12回 【実績】12回	◇各地区公民館の機能や役割を、より地域づくり活動の中心となるよう「まちづくりセンター」へ再編し、さらなる生涯学習推進体制の充実を図る。
	(2) 社会教育施設の維持及び整備	<u>◎達成</u> 施設利用環境の各種整備をした。	東部地区公民館渡り廊下サッシドア修繕、高窓雨漏り修繕、オイルサーバー交換修繕 西部地区公民館グリストラップ清掃 白樺地区公民館水	◇社会教育施設の適切な機能維持を図り気軽に利用し易い施設環境の整備を図る。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
2. 地域とともにすすめるまちづくりの推進	(3) 社会教育施設を中心とした生涯学習環境の整備・充実を促進した。	<u>◎達成</u> 各地区分館施設管理費として分館施設整備事業補助金を交付した。	道メーター・水道メーターボックス交換、FF式ストーブ交換 下樁、樁第一（白樁）昭和、上代（東部）高野寺分、中ノ目北、萩生東部、吉長、萩生町上（中部）等の部分修繕	◇老朽化が進む分館の施設管理について今後も適切な維持管理に努めていく。
	(1) 家庭教育及び地域学校協働本部事業の充実	<u>◎達成</u> 家庭教育の推進として、各小学校の就学時健診や幼児施設のPTA研修会等の機会を活用し、各種講演や親子で学ぶ運動教室などの開催を通じて、家庭教育のさらなる推進を図った。	家庭教育の推進アンケート結果（幼児共育広場） 【目標】 好意的評価95%以上 【実績】 良かった以上95.5% また参加したい	◇家庭教育の推進できるだけ多くの保護者が参加できるように、開催時間や方法について配慮する。保護者の意見を取り入れながら検討していく。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
3. 生涯学習の推進と 学習情報の提供	(1) 学校・家庭・地域連携協働による生涯学習の推進	<u>◎達成</u> 学校・家庭・地域連携協働活動 町内の各小中学校に地域学校協働活動推進員を各1名配置し学校と地域のパイプ役として、地域ボランティア活動や職場体験学習、地域学習、校外学習などの連絡・調整を行い、地域住民の参画を得ながら仕組みづくりを行った。	91.7% 小学校 3 校 幼児施設 1 施設 で実施 小学校 4 名 / 4 校 中学校 1 名 / 1 校	◇学校・家庭・地域連携協働活動 地域と連携した学習環境の整備・充実に努めるとともに、義務教育学校を見据えた協議等を推進していく。
	(2) 図書室の利用拡大	<u>○概ね達成</u> 読書に親しむ機会や習慣を幼少期から構築していくため、絵本の読み聞かせ広場や各種の体験教室などを開催した。また、読書推進企画として、「本の福袋」「読書の木」「大	図書室の利用拡大 ・貸出延べ冊数 9,256 冊	◇図書室の利用拡大 図書室の利用者は固定化しており、中学生～20代の利用が落ち込む傾向がある。町民の身近な学びの拠点である

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	(3) 学習情報の提供	人の講座」などを実施した。 <u>○概ね達成</u> ・いいで天文台事業については、業務委託により、天文台設備による星空案内、地域・学校に出向いた天文教室、中部地区公民館にて常設展示、東部地区公民館にて天文台紹介展示を行い、天文教育の普及に努めた。 ・地域の要望や要請に応じた魅力ある学習機会の提供と、町民に対する学習情報の発信に努めた。	天文台利用者数 （出前講座等含む） 【目標】 500 人 【実績】 326 人	図書室の利用の裾野を拡大したい。 ◇いいで天文台事業予約公開や主催事業を継続して行う。 また、学校活動や子ども会育成会とも連携し、天文台施設を活用した生涯学習を推進する。 ◇生涯学習に対する住民ニーズの把握に努めるとともに、各地区まちづくりセンター、飯豊少年自然の家、源流の森や名所など町内資源の活用及び情報発信を推進する。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	(4) 地域の特徴を活かした、公民館活動や、まちづくり事業の展開	<u>◎達成</u> 各地区公民館事業 ・地域資源を活かした多世代が交流できる事業を企画。ホームページ・チラシ等による周知及び開催状況の情報発信に努めた。 ・文化祭は、従来の展示等に加え、地域の方々が参加できるものや、飲食物の提供なども行った。各館で工夫を凝らしながら、地域の活性化に貢献する取組みを実施した。	各地区公民館事業 地区公民館（５館） 利用者数 【目標】 30,000 人 【実績】 42,826 人	◇各地区まちづくりセンター事業 地区公民館がまちづくりセンターへ再編し、教育委員会の所管から町長部局へ移行することで、より地域住民が主体となって、地域の実情に合わせた施設運営やまちづくりの振興を図っていく。また、今後もいいでの子大したもんだプロジェクト等の生涯学習施策を連携して推進する。
	(5) 青少年の健全育成及びの子ども会育成会連絡協議会推進	<u>◎達成</u> ・町青少年育成推進員と連携し、研修会の開催、有害図書類調査、いじめ・非行防止標語募集・審査を行い、青少年をとり	目標数値化不可	◇青少年の健全育成の推進 青少年の健全育成の推進にあつては、町青少年育成町民

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		まく環境の向上に努めた。いじめ防止標語飯豊町優秀作品についてポスター掲示を行った。 ・各地区子ども会育成会連絡協議会を通じ、各単位子ども会育成会に対して子ども会活動活性化推進補助金を交付し、活動費の支援を図った。		会議会員と連携し、地域を挙げて青少年の心豊かな成長を守る取り組みを推進する。 今後も、各地区子ども会育成会に対し、補助事業を活用した活動の活性化について継続的に支援する。できる限り地域資源を活用し、学校・まちづくりセンターとも連携できる支援・育成の在り方について検討する。

（重点項目）文化財保護と利活用の推進

◇目標 ふるさとの自然や地域文化を愛する心を育て、創造的にぎわいのある地域づくりをめざすため、文化財の保護と活用をはかります。

〈達成状況〉事業２項目のうち、達成（◎）：１ 概ね達成（○）：０ 未達成（×）：１ 評価不能※（－）：０

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
文化財保護と利活用の推進	(1) 貴重な文化財や地域史研究資料の保全と活用 (2) 地域の歴史や文化を後世に伝えるための基盤づくりを推進した。	<u>◎達成</u> 文化財の保護及び利活用の促進 <u>×未達成</u> 飯豊町の歴史文化の普及啓蒙活動	【実績】 ・萩生城址、萩生石箱遺跡公園の維持管理。 ・開発に伴う埋蔵文化財問い合わせ対応 ・飯豊学講座の開催（２回）	◇飯豊町歴史文化基本構想のスケジュールに沿って、飯豊遺産の保護と利活用を促進していく。

（重点項目）生涯スポーツ活動の推進

◇目標 スポーツをとおして、明るく豊かで活力に満ちた地域づくりを進めるため、「町民一人１スポーツ」を目標に生涯スポーツの推進をはかります。

〈達成状況〉事業４項目のうち、達成（◎）：３ 概ね達成（○）：１ 未達成（×）：０ 評価不能※（－）：０

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
心身の健康と体力増進のための町民一人１スポーツの推進	(1)町民一人１スポーツ推進のための事業展開 ・生涯スポーツの推進に向け、町民一人１スポーツを目標とし、スポーツ協会、いいでスポーツクラブキララ、スポーツ推進委員会などと連携を図った。 ダムマラソン大会をはじめ各種事業を実施することができた。	<u>○達成</u> ・関係団体との協働・連携促進として、町スポーツ協会（地区スポ協・スポーツ団体）及びいいでスポーツクラブキララの各種事業の支援を図った。 ・町総合体育大会の開催 町スポーツ協会及び各地区スポーツ協会と連携し11種目を町総合体育大会として開催し、スポーツを通じた交流づくり・健康づくりに努めた。		◇いいでスポーツクラブキララについて、町民の参加促進やクラブ事業の充実を図り、一般会員数の増加に努める。 また、スポーツ推進委員・まちづくりセンターとの連携促進を図り、生涯スポーツの普及を進める。 ◇町総合体育大会については、スポーツを通じた交流づくりとして今後も継続し、「町民一人１スポー

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	(2) スポーツ施設の整備 ・町民スポーツセンター、手ノ子スキー場、自然観察学習園 グランドゴルフ場などのスポーツ施設の管理・運営にあたり、施設利用の促進を図った。	<u>○概ね達成</u> 施設利用環境の各種整備 町民スポーツセンター及び手ノ子スキー場の管理運営を業務委託し、受託者等と連携して施設環境の整備に努めた。 手ノ子スキー場シュレックリフトについては、大規模改修を実施し、施設の長寿命化と機能の維持に努めた。	町民スポーツセンター利用者数 【目標】 9,000 人 【実績】 12,182 人 町民プール利用者数 【目標】 4,000 人 【実績】 3,935 人 手ノ子スキー場利用者数 【目標】 30,000 人 【実績】 28,840 人 いいでスポーツクラブキララ会員数 【目標】 320 人 【実績】 239 人	ツ」を見据えた大会のあり方について検討を行う。 ◇町民スポーツセンター、町民野球場、町民プール、手ノ子スキー場、などのスポーツ施設の利便性向上と安全確保を図り、利用の拡大を図るために関係団体とも連携し、継続して各施設の設備整備に取り組む。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	(3) スポーツ団体の育成と競技力の向上	<u>◎達成</u> 各競技指導者の人材確保と指導力向上を図り、小学生から中学生までの競技力の向上を図った。 また、上位大会の参加費用への補助を行った。	スポーツ少年団指導者の上部研修会参加に係る支援を行った。 全国規模の大会参加者に対し、大会登録料・旅費など参加経費の補助による支援を行った。(4件)	◇上位大会への参加費用補助による、競技力の向上を応援する支援事業を継続する。
	(4) 子どもたちの体力等の向上やスポーツに親しむための事業展開	<u>◎達成</u> スポーツ教室の開催 ・児童、生徒の運動能力の向上を目指した。	町小学校体育振興会と連携し、小学生の走力向上を図るため、町小学校陸上大会において陸上教室を開催した。	◇小学生の運動能力向上を図るため、今後も各種教室を継続して開催する。

(重点項目) 多様な芸術文化活動と音楽活動の推進

◇目標 誰もが、どこでも、芸術文化や音楽に親しみ、感動の機会に触れることのできる環境の整備を進めるとともに、芸術文化団体の創造的な活動に対して、支援します。

〈達成状況〉事業3項目のうち、達成(◎):3 概ね達成(○):0 未達成(×):0 評価不能※(ー):0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
1. 芸術文化活動の奨励事業	(1)各種芸術文化団体の活動について、従来開催していた芸能発表会を一新し、飯豊町芸術文化協会加盟団体及び町内外の一般参加による多彩な内容の公演と作品展を開催した。 (2)町民総合センターを活用し、質の高い芸術(演劇)に親しむ機会を創出することによって、創造性に富み感情豊かな人間性を培うことを目的	○概ね達成 11月24日(日) 飯豊町芸術文化祭2024 ◎達成 7月2日(火) 町内の全小中学生を対象に芸術鑑賞教室を開催し演劇の鑑賞を行った。芸術分野についての興味関心	◆町芸術文化協会 会員数 【目標値】 240人 【実績】 206人 目標数値化不可	◇コロナ禍以降芸術文化協会会員数や活動の減少が顕著であったが、今後は総合芸術祭の開催に向けて各団体と調整し、従来以上に芸術文化の普及と発展を支援していく。 ◇子どもたちが芸術に触れる機会を今後とも継続して創造していく。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
2. 音楽からのまちづくりの推進	に開催した。 (1)大規模改修によって向上した利便性を利用者が十分に享受できるよう、積極的な情報発信を行うとともに、町民総合センターの利活用方法について様々な提案をしていきながら事業を進めてきた。	を引き出すきっかけすることができた。 <u>◎達成</u> ・6月22日（土） フェット・ド・ラ・ミュージック開催 ・7月6日（土）～7日（日） 第15回めざみの里カンタート開催 ・9月7日（土） いいで“めざみの里”まつり2024 ・11月9日（土） 第29回めざみの里音楽祭	目標数値化不可	◇町民誰しものが音楽を気軽に親しめる場を継続して提供していくことで、音楽からのまちづくりを推進していく。